

2019年度 教科課程

学科名 看護学科 (昼間部 3年制)												
区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
基礎分野	論理学 Logic	必修	講義	1	30	30						物事の筋道を理解して順序立てて考える思考の法則形式を明らかにし、論理学を用いて論理的思考ができ、効果的に看護実践に活用する方法を学ぶ。
	看護と人間工学 Nursing and ergonomics	必修	講義	1	15	15						看護の場面では物理的なもの見方や、人間の体の運動生理学と力学を関係させたメカニズムを理解し、安全・安楽な移動の援助に活用する。
	情報科学 Information science	必修	講義	1	30	30						情報科学社会にある現代の個人情報の意味や課題などを学ぶ。さらにコンピュータの基本構成動作を理解し、効果的伝達手段の活用方法を学ぶ。
	哲学 Philosophy	必修	講義	1	30		30					過去の哲学思想を学びながら、同時に現代のわれわれの日常生活を反省することを通して、哲学的なものの考え方を習得する。特に「人間とは何か」という視点から人間的現象を理解する。
	環境学 Environmental	必修	講義	1	15	15						自然環境・社会環境・都市環境など、人間の生活を取り巻く環境とその人間、動植物への影響について学ぶ。
	心理学 Psychics	必修	講義	1	30	30						人間の表面に現れた行動から、内面の心理を推察する方法を駆使することを通して、行動の科学として心理学の基本的な考え方を身につける。
	人間関係論 Human Relations	必修	講義	1	30	30						実践的な人間関係力の向上のために、「人との関わり」周囲とのかかわりと成長「人間関係の成り立ち」といった知識的学習をする。
	教育学 Pedagogy	必修	講義	1	30		30					人間の生活・人生において教育の意味と実際について理解を深め、より望ましい生活・人生を実現するため、教育についての見方・考え方を学ぶ。
	倫理学 Ethics	必修	講義	1	30	30						倫理学とは、看護実践行動の基準となる規範を示す学問領域である。生命倫理、医療倫理、看護倫理の歴史的経緯を踏まえ、看護倫理の基本理論や倫理的概念を学ぶ。
	家族と社会学 Family and sociology	必修	講義	1	30		30					家族を家族社会的視点から考察し、家族ストレス理論、家族システム理論、家族発達理論に注目し、患者・家族支援のアプローチについて学ぶ。
	コミュニケーション学 Communication	必修	講義	1	30	30						コミュニケーションについての基本的な知識を理解するとともに保健・医療・福祉のチームの一員としての連携・協働を図るためのコラボレーション能力の知識を身につける。
	英語と英会話 English conversation	必修	講義	1	30	30						医療現場で必要となる英語力を身につけるために、医学英語・看護英語を学ぶ。
	健康スポーツ学 Health and Sports Studies	必修	講義	1	30	30						スポーツを通し、心身の健やかな成長をねらうと共に、自己の体調・健康管理につなげられる知識・技術を学ぶ。
	専門基礎分野	生体機能学Ⅰ Study of Biological Function I	必修	講義	1	30	30					
生体機能学Ⅱ Study of Biological Function II		必修	講義	1	30	30						「消化器」「代謝内分泌」「腎泌尿器」系器官について栄養の消化吸収、排泄のメカニズムに関する器官の形態と構造、その機能と役割を学ぶ。
生体機能学Ⅲ Study of Biological Function III		必修	講義	1	30	30						「骨」「運動」「脳神経」系器官について、神経刺激・興奮のメカニズムと神経系のネットワークが運動機能に結びつく経路について学ぶ。
生体機能学Ⅳ Study of Biological Function IV		必修	講義	1	30		30					視力・聴覚・皮膚感覚器系と生殖系の領域について、人間の始まりから成長発達そして老化へのプロセスを学んでいき、人間が外界から防御する仕組みを学ぶ。

専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	生化学 Biochemistry	必修	講義	1	30	30				人体を構成している物質がどのような化合物で成り立っているのか、それらの化合物がどのようにつくられ、壊されて、生体の恒常性が保たれているかということ学ぶ。	
		病態総論(病理学) Pathology	必修	講義	1	30	30				病理学について、組織・器官に表れる変化や病態は、生物学的なヒトに起こっている現象、病因、症状、徴候、治療と一連の流れを系統的に学ぶ。	
		疾病論Ⅰ Theory of Disease I	必修	講義	1	30	30				生命活動に直結する器官の疾患の基礎的知識として「呼吸」「循環」「血液」系の病態と治療について学ぶ。	
		疾病論Ⅱ Theory of Disease II	必修	講義	1	30	30				体のメカニズムについて学習をフィードバックしながら「消化器」「内分泌」「腎泌尿器」に障害を生じた場合の疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ。	
		疾病論Ⅲ Theory of Disease III	必修	講義	1	30	30				骨・筋・運動機能領域の疾患では、骨折、椎間板ヘルニア、リウマチ、脊髄損傷などによる運動障害や機能障害を学ぶ。脳神経の領域の疾患では、脳血管障害や難病などについて学ぶ。	
		疾病論Ⅳ Theory of Disease IV	必修	講義	1	30	30				生体の防御「免疫機能や感覚器」「生殖器」「耳鼻咽喉」に障害を生じた場合の疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ。	
		疾病論Ⅴ Theory of Disease V	必修	講義	1	30	30				精神障害の疾患と子ども特有の疾患の内容について学習し、主要系統的な身体機能のメカニズムと心身相関について学ぶ。	
		治療論Ⅰ Theory of Treatment I	必修	講義	1	30	30				薬理学の目的、薬物の定義、薬物療法の原則や薬物の歴史を学び、更に薬物が体内に入るとのメカニズムや主作用・副作用を学ぶ。	
		治療論Ⅱ Theory of Treatment II	必修	講義	1	30	30				ヒトと動物に関わる微生物について概略を知り、微生物を制御する方法、感染症発生の仕組みを理解し、感染予防の意義と感染予防や予防活動について学ぶ。	
		治療論Ⅲ Theory of Treatment III	必修	講義	1	30	30				人間にとつての栄養の意義、栄養と健康のかかわりについて、人間の生理機能との関連から栄養の基本的概念と各種栄養素、主要食品の栄養学的意義を学ぶ。	
		治療論Ⅳ Theory of Treatment IV	必修	講義	1	30	30				検査内容と疾患のつながりを理解し、臨床検査の基礎知識を学び、更に放射線療法・リハビリテーション療法について学ぶ。また、医療機器のメカニズムを理解し、使用のための原理原則を学ぶ。	
		健康支援と社会保障制度	公衆衛生学 Public Health	必修	講義	2	30	30				社会と健康、衛生、公衆衛生学の概念を学び、理論を理解する。また、個人及び集団「社会」における健康増進、保健予防を実践するための基礎的方法論を学ぶ。
			総合医療論 Comprehensive Medical Theory	必修	講義	1	15	15				生命、健康、病気について考え、日本の保健医療福祉活動について学ぶとともに保健医療の現象について看護の視点から理解を深める。
			社会保障制度 Social Security System	必修	講義	1	15	15				社会保障制度について理解し、地域社会が抱える生活課題を解決するために必要な社会資源とサポートシステムについて学ぶ。
社会福祉 Social Welfare	必修		講義	1	15	15				社会福祉の基礎的知識を学び、保健医療福祉の各役割と機能及び相互の連携について理解する。また、利用者を支援するサポートシステム作りの理念を学ぶ。		
関係法規 Relevant Law	必修		講義	1	15	15				保健医療に関する諸制度の概要を理解し、看護の必要な法律の基礎知識「保健」「医療」「法規」を学ぶ。		
専門分野Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学概論 Introduction of Fundamental Nursing Science	必修	講義	1	30	30				看護の基本となる概念を体系的に理解し、保健・医療・福祉の広い視野で、看護の機能、役割を学ぶ。	
		看護研究 Nursing study	必修	講義	1	30	30				看護研究について、方法論の基礎を学習し、看護の質の向上や科学的根拠に基づく看護を目指す姿勢と必要性を養う。	

専門分野Ⅱ	老年看護学	老年看護学援助論Ⅱ Gerontological Nursing Ⅱ	必修	講義	1	15			15		健康障害をもつ高齢者の看護をどのように提供するのか、その方法について具体的な事例を通して、看護実践のあり方について学ぶ。
		老年看護学援助論Ⅲ Gerontological Nursing Ⅲ	必修	講義	1	30			30		老年看護学概論と高齢者の健康障害時の看護、高齢者の日常生活援助で学んだ知識と技術を統合し、高齢者の看護過程を展開する。
	小児看護学	小児看護学概論 Introduction to pediatric Nursing	必修	講義	1	30			30		子どもを発達していく存在としてとらえ、社会の中で健やかに成長・発達を遂げる権利を理解し、子どもと家族の健康な生活支援のための知識を学ぶ。
		小児看護学援助論Ⅰ Pediatric Nursing Ⅰ	必修	講義	1	30			30		健康問題が子どもと家族に及ぼす影響について理解し、子どもの疾病の経過に応じた看護や特徴的な症状に対する看護を学ぶ。
		小児看護学援助論Ⅱ Pediatric Nursing Ⅱ	必修	講義	1	15			15		小児の発達段階や、子どもと家族の置かれている状況に応じて看護ケアの基盤となる援助関係を形成する技術と、その方法を学ぶ。
		小児看護学援助論Ⅲ Pediatric Nursing Ⅲ	必修	講義	1	30			30		小児に特有な疾患・症状の事例を挙げ、子どもの成長・発達を考慮して健康の回復・促進への働きかけができる知識・技術・態度を学ぶ。
	母性看護学	母性看護学概論 Introduction to Maternity Nursing	必修	講義	1	30			30		女性特有の身体的特性および心理・社会的特性を理解し、すべてのライフステージにおける女性の健康、リプロダクティブヘルスケアについて理解する。
		母性看護学援助論Ⅰ Maternity nursing Ⅰ	必修	講義	1	30			30		女性のライフステージ各期において、看護の展開に必要とされる医学的な基礎疾患を学ぶ。対象者を統合体として理解し、事例を通して看護の展開を学ぶ。
		母性看護学援助論Ⅱ Maternity nursing Ⅱ	必修	講義	1	15			15		周産期の母性と家族の健康に焦点をあて、心理・社会的変化と生活への適応と、健康逸脱時のケアなどについて学習する。
		母性看護学援助論Ⅲ Maternity nursing Ⅲ	必修	講義	1	30			30		正常な妊娠経過と妊婦の看護と産褥・新生児の生理的な経過・変化についてとその特性に適した看護援助を学習する。
	精神看護学	精神看護学概論 Introduction to Psychiatric-Mental-Health	必修	講義	1	30			30		精神看護の概念と、精神医療と看護の変遷を学び、精神看護の機能と役割、精神保健について学ぶ。
		精神看護学援助論Ⅰ Psychiatric-Mental-Health Nursing Ⅰ	必修	講義	1	30			30		患者理解の手段となる傾聴・共感のコミュニケーション技術の活用と、人間関係の確立とその関係性を発展させる方法について学ぶ。
		精神看護学援助論Ⅱ Psychiatric-Mental-Health Nursing Ⅱ	必修	講義	1	15			15		精神医療における入院環境と治療のアプローチについて患者の自立・回復を促すための支援方法を学ぶ。
		精神看護学援助論Ⅲ Psychiatric-Mental-Health Nursing Ⅲ	必修	講義	1	30			30		セルフケア理論を活用し、患者の自立・回復を促すための支援方法や地域における精神看護、災害保健福祉活動について学ぶ。
	臨床実習	成人看護学実習Ⅰ Clinical Practice in Adult Nursing Ⅰ	必修	実習	2	90				90	慢性疾患や障害があり、生涯にわたり生活を再調整・維持する必要がある対象者の健康問題の解決に向けた看護を学ぶ。
		成人看護学実習Ⅱ Clinical Practice in Adult Nursing Ⅱ	必修	実習	2	90				90	急激な健康破綻をきたした患者とその家族に対して、患者の心身の状況と特徴を理解した上で、心身の安定を図り、順調な回復過程をたどるための看護を学ぶ。
		成人看護学実習Ⅲ Clinical Practice in Adult Nursing Ⅲ	必修	実習	2	90				90	疾病からの回復が困難、もしくは人生最期の時にある患者・家族の苦痛や状況を理解し、QOLの向上を目指した援助の重要性を学ぶ。
		老年看護学実習Ⅰ Clinical Practice in Gerontological Nursing Ⅰ	必修	実習	2	90			90		高齢者が生活している場と家族や保健・医療・福祉その他の関連機関との連携や役割について学ぶ。

専門分野Ⅱ	臨地実習	老年看護学実習Ⅱ Clinical Practice in Gerontological Nursing II	必修	実習	2	90					90		健康上の問題をもつ老年期の人とその家族を理解し、問題解決思考過程の看護展開を学ぶ。	
		小児看護学実習 Clinical Practice in Pediatric Nursing	必修	実習	2	90					90		小児各期の成長・発達を理解し、成長発達段階・健康段階にある小児及び家族に応じた援助を行うための知識・技術・態度を学ぶ。	
		母性看護学実習 Clinical Practice in Maternity Nursing	必修	講義	2	90					90		妊婦・産婦・褥婦と新生児が生理的変化に適切していくプロセスと健康の保持・増進していくための看護の実際を学ぶ。	
		精神看護学実習 Clinical Practice in Psychiatric-Mental-Health	必修	講義	2	90					90		精神看護の概念と、精神医療と看護の変遷を学び、精神看護の機能と役割、精神保健について学ぶ。	
統合分野	在宅看護論	在宅看護概論 Introduction to Home Care Nursing	必修	講義	1	15					15		在宅看護の目的、看護師の役割、対象とその家族を理解し、対象となる人々のQOLに着目し、在宅看護を展開する上で必要な知識や諸制度を学ぶ。	
		在宅看護援助論Ⅰ Home Care Nursing I	必修	講義	1	30					30		在宅療養者とその家族を対象に、在宅看護を展開するためのアセスメント方法、看護計画、在宅ケアの連携やケアマネジメント、社会資源を活用するための方法を学ぶ。	
		在宅看護援助論Ⅱ Home Care Nursing II	必修	講義	1	30					30		在宅看護を展開するために、在宅で求められる実践的な看護技術を学習する。	
		在宅看護援助論Ⅲ Home Care Nursing III	必修	講義	1	30					30		在宅で看護を提供していく流れを、特徴的な事例を通して学習する。	
	看護の統合と実践	看護管理 Nursing Management	必修	講義	1	15					15		看護マネジメントの目的を理解し、資源活用や医療チームに関わる人々との協働・調整について学ぶ。	
		医療安全 Medical Safety	必修	講義	1	30					30		実際に起こった看護場面などから、事故発生要因や危険を理論的に考え、事故防止対策について学習する。	
		災害看護・国際看護 International Nursing Disaster Nursing	必修	講義	1	30					30		災害の種類や特徴を理解し看護の役割を学ぶ。また、世界の健康問題とそれに対する看護の現状課題を知り、異文化の中での看護を学ぶ。	
		統合看護の実際 Integrated Nursing Practice	必修	講義	1	30					30		専門職業人として質の高い医療を提供するために生涯にわたり自らの職業能力を高められるように主体的学習を継続できる能力を養う。	
	臨地実習	在宅看護論 Clinical Practice in Home Care Nursing	必修	実習	2	90					90		在宅看護の対象のニーズ及び生活特性を理解し、健康障害を持ちながらもその人らしい在宅療養生活が送れるよう他職種との連携・協働のあり方を学ぶ。	
		看護の統合と実践 Integration of Nursing Science and Practice	必修	実習	2	90					90		看護チームの一員として、実務に即した看護実践に主体的に取り組み、看護実践能力の向上を目指す。	
	総時間数					97	3045	555	570	615	480	195	630	